

2018年11月19日 全7頁

Indicators Update

2018年10月貿易統計

自然災害からの反動増が見られるが、水準はピーク時に及ばず

経済調査部

研究員 廣野 洋太

エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+8.2%と前月（同▲1.3%）からプラス転換、輸入金額は同+19.9%と前月（同+7.0%）からプラス幅が拡大した。貿易収支は▲4,493億円と2ヶ月ぶりの赤字となった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+6.5%と大幅に増加した。9月の自然災害からの反動が出たようだが、9月、10月の平均は8月比▲2.3%と均して見ると弱い。水準についても17年末ごろの高水準を下回っており、ピークアウト感がある。
- 輸出数量を地域別で見ると、米国向け（前月比+4.2%）、EU向け（同+8.8%）、アジア向け（同+4.8%）など総じて増加。米国では、鉄鋼の増加が大きかった。鉄鋼は2014年末ごろからトレンドとして減少傾向であった上に、追加関税の影響で軟調であったが、一旦は増加。EUでは自動車が大きく増加した。欧州の自動車販売については、新しい燃費基準の導入に伴い9月に大きく減少していた反動とみられる。アジアでは、自動車が18年中ごろから軟調な推移となっていたものの、足下では大きく反発している。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2018年								
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出金額	1.8	2.1	7.8	8.1	6.7	3.9	6.6	▲1.3	8.2
コンセンサス									8.9
DIR予想									9.1
輸入金額	16.6	▲0.5	6.0	14.1	2.6	14.7	15.5	7.0	19.9
輸出数量	▲0.8	3.6	7.2	6.4	3.2	0.9	1.1	▲4.9	3.8
価格	2.7	▲1.4	0.5	1.5	3.4	3.0	5.4	3.7	4.3
輸入数量	13.8	▲4.2	2.1	6.6	▲4.5	4.0	4.5	▲2.7	10.3
価格	2.5	3.9	3.8	7.0	7.5	10.2	10.5	10.0	8.7
貿易収支	▲1	7,933	6,208	▲5,833	7,184	▲2,350	▲4,488	1,313	▲4,493
税関長公示レート	109.26	106.56	106.31	109.08	109.86	110.78	111.33	111.13	112.90

（注1）貿易収支は億円。税関長公示レートは円/ドルレート。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出金額は数量によってプラス転換

2018年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+8.2%と前月（同▲1.3%）からプラス転換、輸入金額は同+19.9%と前月（同+7.0%）からプラス幅が拡大した。貿易収支は▲4,493億円と2ヶ月ぶりの赤字となった。

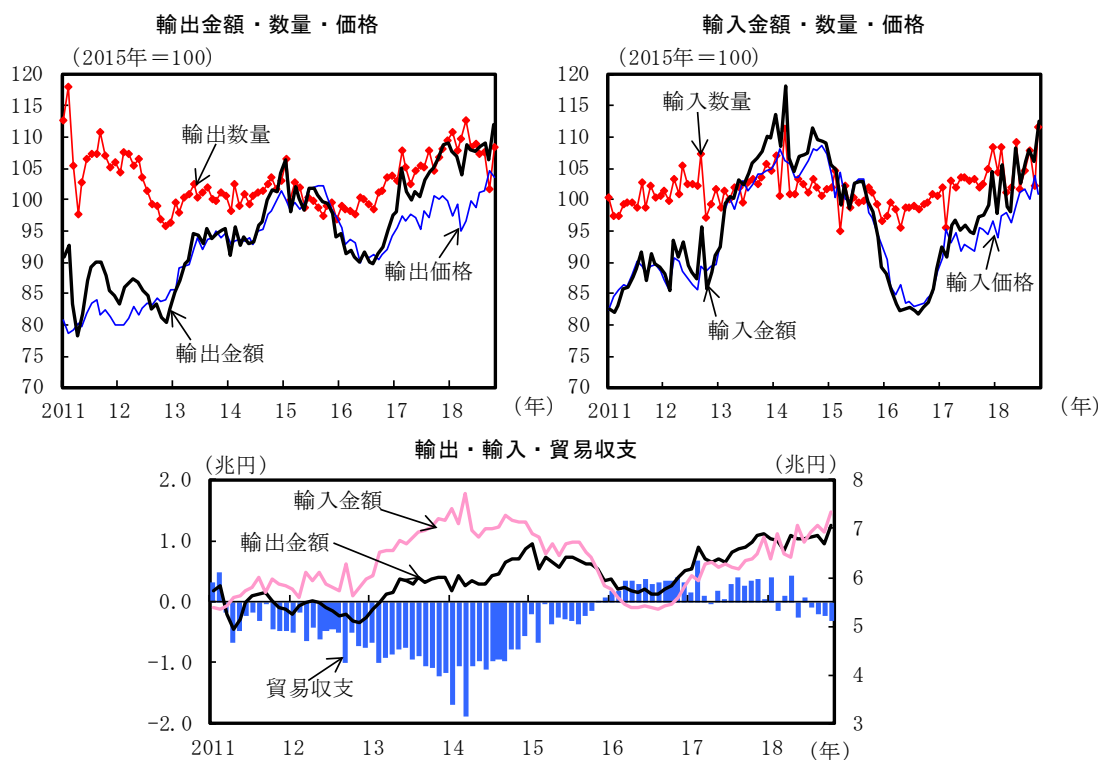
輸出金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+3.8%と前月（同▲4.9%）からプラス転換した。自動車の輸出数量がプラス転換したことが影響した。価格要因については同+4.3%とプラス幅が前月（同+3.7%）から拡大している。輸出価格については、医薬品の単価がプラス転換したことが全体を押し上げた。

輸入金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+10.3%と前月（同▲2.7%）からプラス転換している。価格要因については同+8.7%と前月（同+10.0%）からプラス幅が縮小している。輸入数量を商品別に見ると、医薬品が前月からプラス転換した影響が大きかったようだ。価格要因については、非鉄金属鉱の前年比マイナス転換が影響したものとみられる。

また貿易収支については、2017年末ごろから、輸入金額の増加と比較して輸出金額が軟調な推移となったことから、赤字を記録する月が見られるようになった。2017年末から足下の輸入金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因の振れが大きいものの、主に価格要因が押し上げ要因となっている。輸入価格上昇の背景には原油価格の上昇があるものとみられる。

季節調整値で見ると、輸出金額は前月比+4.3%、輸入金額は同+6.6%となった結果、貿易収支は▲3,027億円と4ヶ月連続の赤字となった。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



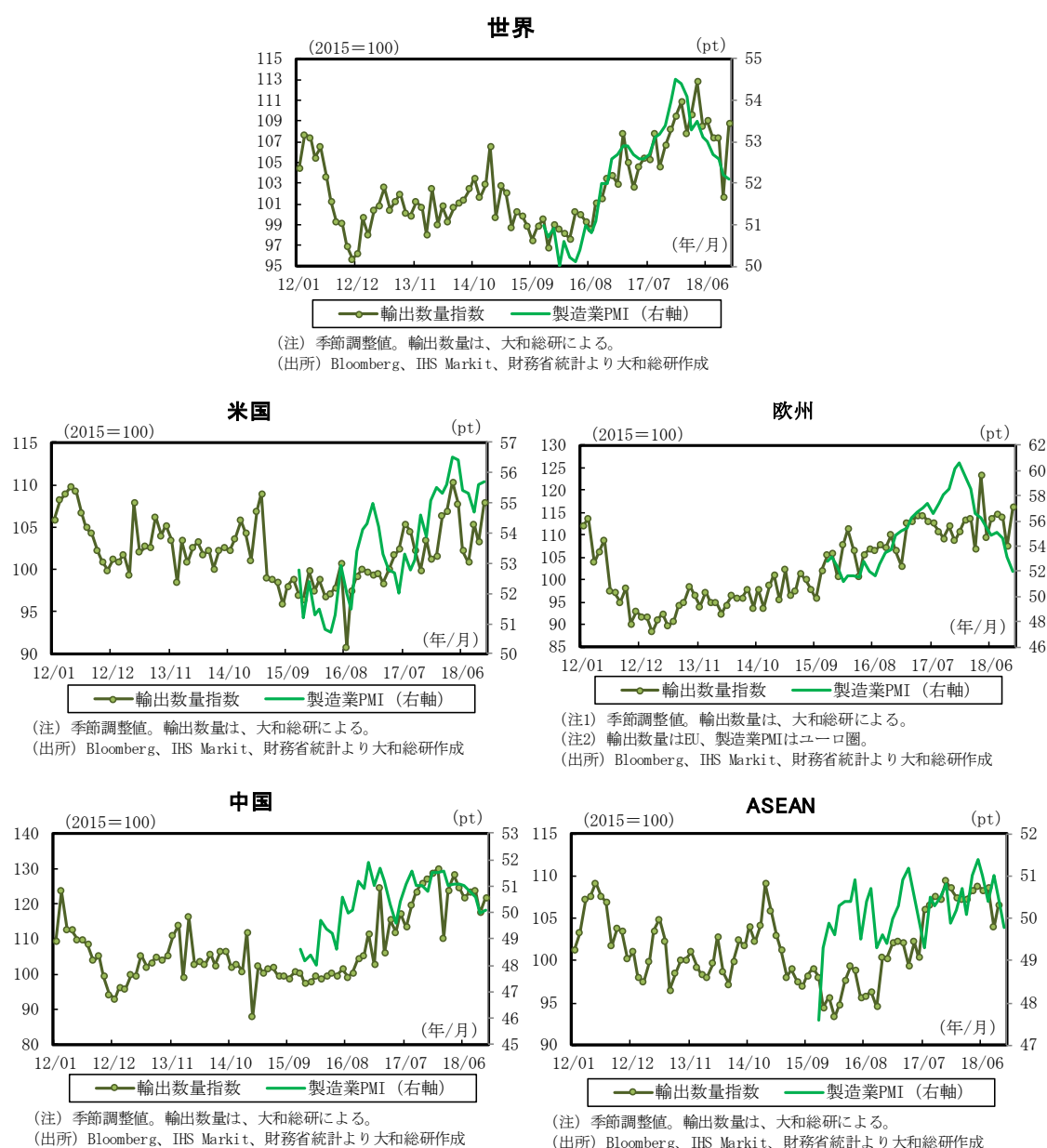
（注） 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
（出所） 財務省統計より大和総研作成

輸出数量は、9 月特殊要因から大幅反発。ただし基調は弱い

輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+6.5%と大幅に増加した。9 月の自然災害からの反動が出たようだが、9 月、10 月の平均は 8 月比▲2.3%と均して見ると弱い。水準についても 17 年末ごろの高水準を下回っており、ピークアウト感がある。

地域別では、米国向け（前月比+4.2%）、EU 向け（同+8.8%）、アジア向け（同+4.8%）など総じて増加。ヘッドラインと同様に、9 月、10 月を平均すると、米国向け（8 月比+0.0%）、アジア向け（同+0.1%）はほぼ横ばいであったものの、EU 向け（同▲1.7%）は減少している。

図表 3：世界の製造業 PMI と輸出数量



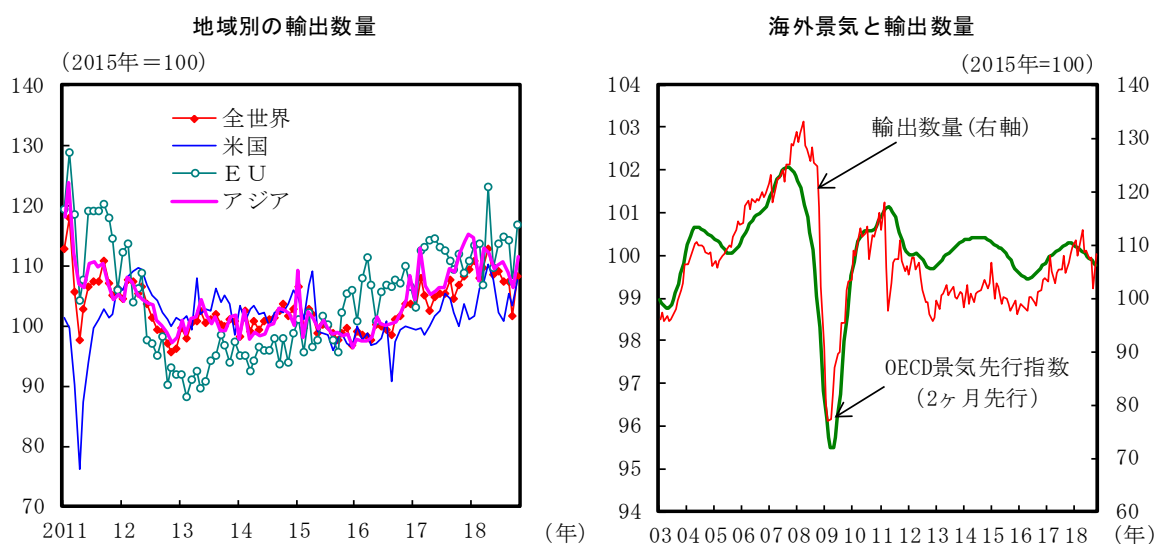
米国では、鉄鋼の増加が大きかった。鉄鋼は2014年末ごろからトレンドとして減少傾向であった上に、追加関税の影響で軟調であったが、一旦は増加。9月、10月を均して見ても強かった。EUでは自動車が大きく増加した。欧州の自動車販売については、新しい燃費基準の導入に伴い9月に大きく減少していた反動とみられる。ただし、こちらは9月、10月を均して見ても減少が大きい。アジアでは、自動車が18年中ごろから軟調な推移となっていたものの、足下では大きく反発している。なお9月、10月を均して見ても8月比で増加している。

輸出数量の見通しは緩やかな減少

先行きの輸出数量について、緩やかに減少するとみている。2017年度の輸出は、米国を中心とした在庫循環上の回復が押し上げ要因となってきたが、足下では剥落してきている。

また、米国を中心とする保護貿易の流れには注意が必要である。米中間の貿易摩擦の激化もさることながら、日本にとっての懸念材料は米国との物品貿易協定（TAG）に向けた二国間交渉である。日本側は、TAGはFTAとは異なると主張する一方、米国側ではFTA締結を目指すといった発言が見られるなど、見解には相違がある。日本にとって最重要課題であった米国の自動車関税については当面棚上げとなったが、先行きには注意が必要である。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



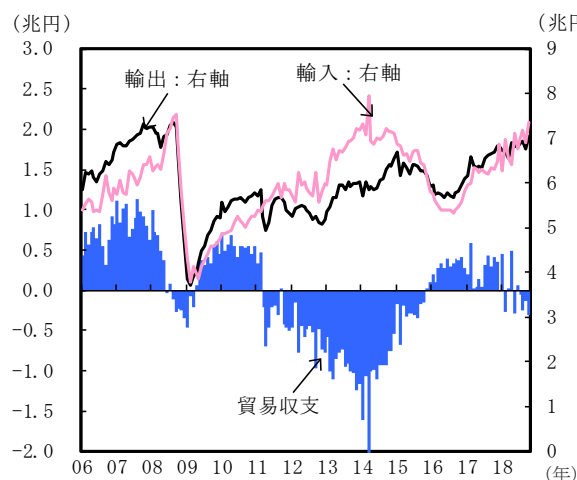
(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

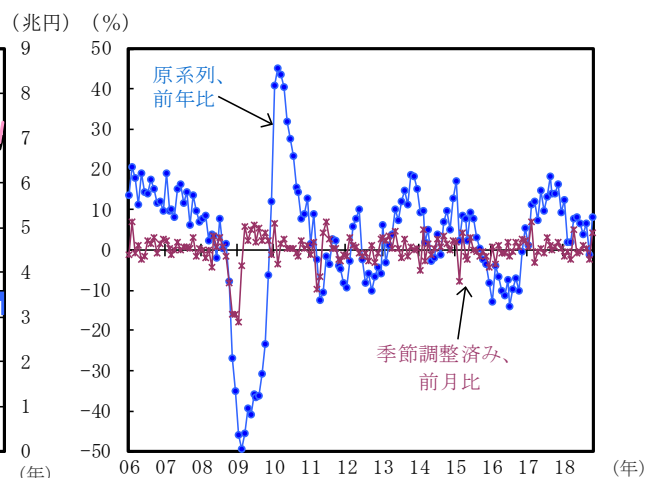
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

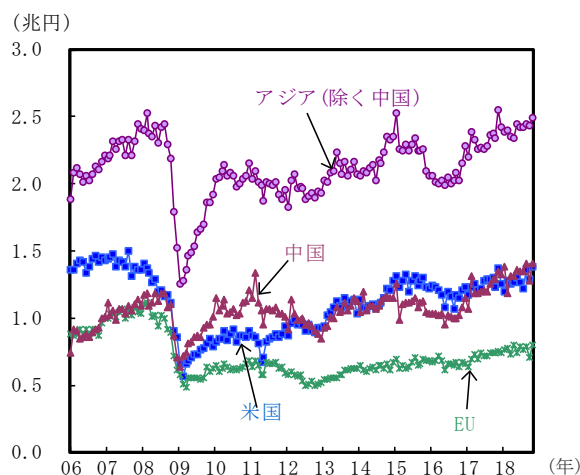


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）



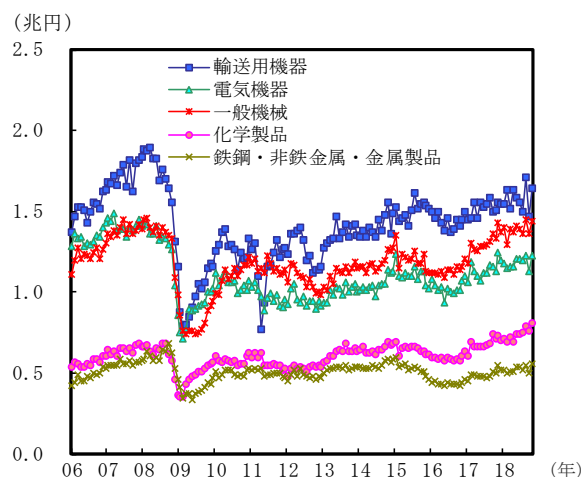
主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）



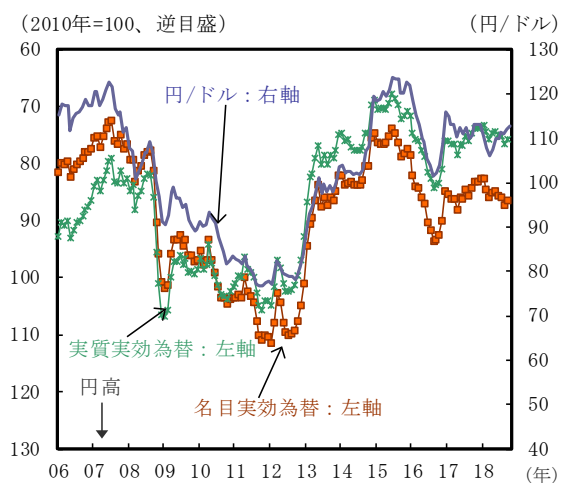
(注) 季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



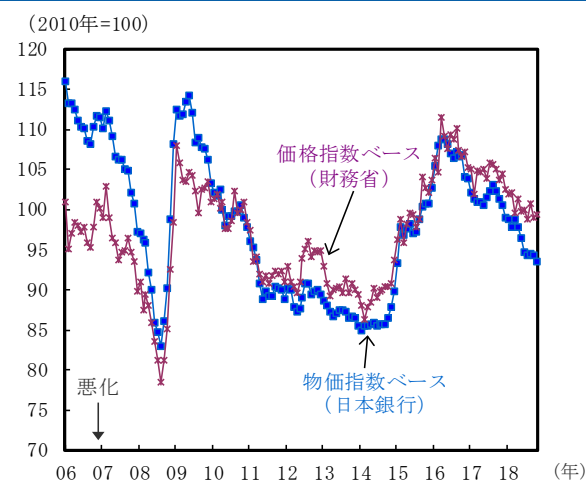
為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2018/05	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.1	6.7	3.9	6.6	▲1.3	8.2	100.0	8.2
食料品	25.7	21.7	21.7	20.1	18.3	14.6	0.9	0.1
原料品	13.5	10.4	6.8	0.7	▲2.9	7.2	1.4	0.1
鉱物性燃料	33.7	17.3	43.1	7.6	32.9	22.2	1.4	0.3
化学製品	12.5	11.6	10.9	15.1	3.1	13.5	11.3	1.5
原料別製品	10.7	9.5	7.1	10.5	▲2.3	9.2	11.1	1.0
鉄鋼	7.8	7.2	11.2	13.4	0.5	13.5	4.2	0.5
非鉄金属	23.7	19.4	9.6	13.7	▲7.6	7.3	1.8	0.1
金属製品	7.7	13.4	5.7	9.6	▲2.4	7.0	1.6	0.1
一般機械	9.9	8.4	4.8	9.7	0.1	7.7	19.5	1.5
電気機器	11.3	8.1	7.1	5.6	▲2.6	8.2	17.8	1.5
半導体等電子部品	8.4	9.0	8.0	4.2	▲1.7	10.5	5.3	0.5
I C	7.7	9.3	9.7	4.4	▲3.4	12.3	3.8	0.4
映像記録・再生機器	▲1.5	5.0	▲8.9	▲11.8	▲2.3	▲15.9	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	6.7	▲14.4	17.1	▲23.7	▲13.0	▲9.2	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	4.3	1.6	1.8	8.2	▲5.8	2.6	2.6	0.1
輸送用機器	1.7	2.7	▲4.0	8.4	▲2.2	9.0	23.5	2.1
自動車	7.1	▲1.0	▲2.8	5.3	▲4.7	7.3	15.7	1.1
自動車の部分品	10.4	8.4	0.8	3.8	3.2	5.9	4.7	0.3
その他	2.2	2.0	▲0.4	▲8.5	▲7.4	1.4	13.1	0.2
科学光学機器	▲3.8	▲3.0	▲2.6	▲2.4	▲3.3	▲3.6	2.8	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2018/05	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.8	▲0.9	▲5.2	5.3	▲0.5	11.6	100.0	11.6
食料品	3.5	10.8	6.6	18.8	5.4	▲1.0	0.6	▲0.0
原料品	4.2	25.3	▲7.4	7.4	▲7.8	20.6	0.5	0.1
鉱物性燃料	53.1	131.0	61.3	62.7	▲50.8	▲85.3	0.1	▲0.5
化学製品	13.0	9.9	18.1	30.3	2.6	27.2	6.7	1.6
原料別製品	11.1	1.8	0.8	4.3	▲3.1	8.6	6.0	0.5
鉄鋼	18.6	▲17.1	▲12.0	▲15.9	▲13.7	14.0	1.3	0.2
非鉄金属	28.9	31.7	20.0	33.7	4.6	16.7	0.7	0.1
金属製品	▲2.5	1.5	10.3	12.2	▲1.5	▲2.5	1.4	▲0.0
一般機械	3.1	0.1	▲8.3	8.5	0.3	13.4	22.0	2.9
電気機器	10.9	6.4	3.8	4.0	0.5	15.2	13.5	2.0
半導体等電子部品	5.2	7.8	1.4	▲2.3	▲9.0	▲8.9	1.3	▲0.1
I C	3.2	▲7.2	▲4.8	▲9.3	▲12.5	▲8.9	0.6	▲0.1
映像記録・再生機器	▲2.0	25.3	▲4.0	▲4.1	33.4	10.0	0.7	0.1
音響・映像機器の部分品	▲20.0	▲9.1	49.9	▲63.0	2.9	▲37.6	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	3.1	5.8	0.7	10.3	▲0.1	17.6	1.4	0.2
輸送用機器	▲0.9	▲9.9	▲11.8	▲0.9	▲0.7	7.9	38.6	3.1
自動車	▲3.9	▲12.0	▲12.1	▲1.5	0.2	7.6	29.1	2.3
自動車の部分品	12.6	▲0.1	▲15.2	▲1.5	▲5.5	▲2.5	5.3	▲0.2
その他	19.7	9.3	▲3.6	3.8	▲1.5	15.3	12.0	1.8
科学光学機器	3.5	▲3.2	▲7.0	2.8	0.9	6.5	2.1	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2018/05	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.7	9.3	6.4	7.1	▲4.4	7.7	100.0	7.7
食料品	▲30.0	10.7	18.1	3.8	▲0.8	46.5	0.5	0.2
原料品	6.4	19.3	22.1	9.2	▲2.0	▲5.5	0.8	▲0.0
鉱物性燃料	57.4	15.7	126.2	47.2	79.7	176.6	0.8	0.6
化学製品	10.4	14.5	15.1	17.4	12.8	5.4	8.4	0.5
原料別製品	17.8	12.8	17.4	12.5	▲3.5	5.3	6.3	0.3
鉄鋼	20.0	▲0.3	22.8	25.7	▲11.7	▲9.3	0.8	▲0.1
非鉄金属	22.0	22.5	40.4	33.4	21.7	21.8	0.9	0.2
金属製品	8.2	7.6	11.0	17.0	▲2.3	13.2	1.4	0.2
一般機械	10.5	13.1	7.8	5.4	▲0.3	9.4	24.4	2.3
電気機器	13.4	8.8	7.3	2.9	▲0.8	7.8	17.7	1.4
半導体等電子部品	4.7	3.6	▲0.7	▲4.3	▲8.4	▲5.2	2.1	▲0.1
I C	▲9.8	▲7.7	▲10.2	▲14.8	▲18.3	▲9.3	1.0	▲0.1
映像記録・再生機器	2.4	8.3	▲13.2	▲17.0	▲12.8	▲10.3	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	2.3	19.3	8.4	▲7.4	▲10.9	▲16.3	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	11.1	9.8	3.3	▲3.0	▲10.0	4.2	1.8	0.1
輸送用機器	▲15.8	6.2	▲7.3	17.8	▲17.6	▲1.1	24.6	▲0.3
自動車	15.8	▲17.4	▲7.5	18.2	▲23.8	0.0	15.4	0.0
自動車の部分品	22.6	5.7	▲2.1	1.2	▲1.2	4.8	5.7	0.3
その他	▲7.4	4.7	10.7	▲9.3	▲3.6	19.4	16.5	2.9
科学光学機器	3.8	3.6	▲1.5	1.0	5.1	9.4	3.4	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2018/05	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.8	8.6	8.0	6.9	0.9	7.3	100.0	7.3
食料品	38.8	25.5	26.6	21.9	22.6	17.5	1.3	0.2
原料品	14.8	7.9	7.0	▲2.0	▲3.3	6.5	2.0	0.1
鉱物性燃料	61.5	▲15.5	29.9	▲10.0	47.7	60.7	1.8	0.7
化学製品	12.0	11.4	9.2	15.1	2.7	12.6	15.6	1.9
原料別製品	11.2	13.3	8.4	13.6	▲0.6	7.7	14.1	1.1
鉄鋼	7.0	12.8	13.6	20.6	5.8	12.1	5.8	0.7
非鉄金属	23.9	19.5	7.7	11.6	▲9.2	6.0	2.8	0.2
金属製品	11.2	18.6	4.2	6.2	▲5.1	2.7	1.7	0.0
一般機械	11.8	9.4	9.2	12.1	1.4	3.9	18.7	0.7
電気機器	11.0	8.2	8.4	5.7	▲3.5	6.9	22.2	1.5
半導体等電子部品	8.7	9.3	9.0	5.0	▲0.7	12.6	8.7	1.0
I C	8.9	11.0	11.3	5.9	▲2.3	14.2	6.4	0.8
映像記録・再生機器	▲3.9	▲5.1	▲7.8	▲12.7	▲16.0	▲29.8	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	7.7	▲22.5	0.2	▲16.7	▲17.4	▲3.5	0.4	▲0.0
電気回路等の機器	3.2	0.4	2.0	9.6	▲5.6	1.2	3.7	0.0
輸送用機器	5.0	5.7	6.4	1.2	6.8	12.9	9.9	1.2
自動車	15.2	3.3	7.1	10.8	3.9	19.2	5.2	0.9
自動車の部分品	6.2	19.4	11.0	6.5	14.2	14.2	3.9	0.5
その他	▲1.0	4.3	2.7	▲5.3	▲1.9	▲1.6	14.4	▲0.3
科学光学機器	▲7.6	▲4.3	▲1.4	▲4.0	▲6.3	▲7.4	3.4	▲0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2018/05	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.9	11.1	11.9	12.1	▲1.7	9.0	100.0	9.0
食料品	86.6	69.8	64.7	34.7	76.5	47.2	0.7	0.2
原料品	14.3	▲2.4	▲2.6	▲12.4	▲9.5	9.8	2.6	0.2
鉱物性燃料	70.9	▲17.0	74.2	89.0	77.6	88.4	1.1	0.6
化学製品	13.8	14.2	12.8	17.2	0.4	16.4	17.0	2.6
原料別製品	4.9	9.9	▲0.5	9.8	▲6.5	2.1	11.1	0.3
鉄鋼	▲8.9	1.9	3.7	13.8	▲1.1	12.3	3.5	0.4
非鉄金属	10.8	26.0	▲11.5	11.3	▲16.1	▲4.6	2.3	▲0.1
金属製品	11.1	19.2	4.6	11.8	▲6.3	0.7	1.7	0.0
一般機械	30.5	22.9	27.8	29.0	12.1	10.0	22.1	2.2
電気機器	12.8	10.4	5.8	0.4	▲14.6	4.9	21.7	1.1
半導体等電子部品	10.6	27.4	13.6	▲3.8	▲23.1	17.8	7.2	1.2
I C	9.3	35.5	16.6	▲7.3	▲29.0	22.2	5.4	1.1
映像記録・再生機器	7.5	▲3.6	▲7.8	▲7.2	▲10.3	▲28.3	0.5	▲0.2
音響・映像機器の部分品	23.0	▲23.1	13.3	▲21.1	▲31.1	3.9	0.5	0.0
電気回路等の機器	6.2	0.5	▲1.0	8.9	▲15.6	▲8.3	3.8	▲0.4
輸送用機器	6.9	8.8	17.0	16.8	16.8	25.6	10.9	2.4
自動車	0.3	▲2.5	30.3	25.9	16.4	30.5	5.4	1.4
自動車の部分品	11.5	14.3	8.6	10.5	17.9	19.4	5.3	0.9
その他	▲2.3	▲6.0	2.2	▲0.2	▲14.1	▲4.2	12.9	▲0.6
科学光学機器	▲4.0	▲10.0	▲3.6	▲2.3	▲12.4	▲5.4	5.1	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。

(出所) 財務省統計より大和総研作成